



農村歌舞伎の隆盛を物語る舞台

田熊の舞台(田熊八幡神社歌舞伎舞台)



指定区分	国指定重要有形民俗文化財
読みかた	たのくまのぶたい(たのくまはちまんじんじゃかぶきぶたい)
所在地	津山市田熊(八幡神社境内)
指定年月日	昭和50年9月3日
解説	旧出雲往来沿いの美作東部地域では、江戸時代後期より農村歌舞伎が盛んであった。この舞台は明治4年(1871)に建築された木造平屋建て、入母屋造、棧瓦葺きの建物。特殊な木車装置を有する直径4mの皿回し式の回り舞台や太夫座、花道などの舞台装置が備えられた本格的なものである。
アクセス方法	津山ICから車で約15分
公開状況	自由(※見学には手を触れないこと)
設備	トイレ  駐車場 
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要有形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	田熊の舞台(田熊八幡神社歌舞伎舞台)
よみかた	たのくまのぶたい(たのくまはちまんじん じゃかぶきぶたい)
しょざいち (所在地)	津山市田熊(八幡神社境内)
していしたひ (指定した日)	昭和50年9月3日
せつめい	田熊八幡神社(たのくまはちまんじんじゃ)の境内(けいだい)にある農村(のうそん)歌舞伎(かぶき)の舞台(ぶたい)です。1871年に建(た)てられた本格的(ほんかくてき)なものです。明治時代(めいじじだい)以前(いぜん)の農村の人々にとって、芝居(しばい)は最高(さいこう)の楽(たの)しみでした。